

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	52 -	事業名	健康づくり推進事業	担当部課	福祉部健康推進課
------	------	-----	-----------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	13	住民の健康づくりを支える	款	4	衛生費
		施策の進め方	2	健康増進事業の実施	項	1	保健衛生費
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	2	予防費
		政策分類	7	健康づくりの輪を広げ、いっつになっても元気で輝く	大事業	6	健康づくり推進事業
	その他(関係法令、要綱等)	健康増進法					
事業開始の背景、経緯等	健康増進法に基づき平成15年度に策定した「健康づくり計画」を推進するため、平成16年度から事業を開始した。その後、平成25年度に「健康づくり計画(第2次)」を策定し、継続して健康づくり事業に取り組んでいる。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、健康に対する啓発を目的に健康教育、8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施し、市民の健康づくり事業を推進していく。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康づくりを推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 健康づくり計画推進事業	拡充	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			1,048	2,878
決算						798	3,262	
人件費(B)	千円	決算			17,439	16,268		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			18,237	19,530		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 健康づくり事業に関わった述べ人数	人	目標	—	—	10,900	11,100	11,300
			実績	—	—	16,085	9,330	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 健康づくりに関して、多くの市民に関わってもらうため、市人口の20%程度の延べ参加者とした。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21(第2次)市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 実績が上がった取組が多かったが、こころの体温計が前年度と比べ利用者が約8千人減少し、全体としては目標を下回った。各取組の実績は健康教育924人、8520・9020運動41人、健康展1,038人、こころの体温計7,284人、禁煙外来治療費助成申請者数43人。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 新規事業等により、一時的に参加者が増加することがあるが、継続した健康づくりへと繋げることが課題である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民自ら健康づくりに取り組めるよう事業を実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 「健康づくり計画(第2次)」の最終年度である平成35年度までに、健康づくり事業に関わった年間延べ人数が目標である市人口の20%を達成する。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

				事業名	健康づくり推進事業								
番号	①	事務事業名	健康づくり計画推進事業	款	4	項	1	目	2	大事業	6	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成16年度		終了（予定）年度		平成35年度						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	「健康づくり計画（第2次）」に基づき、市民に対して健康教育、8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	健康に関する様々な知識を知ってもらい、生活習慣病の予防等、自ら健康づくりを推進する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			1,048	2,878	3,162
		決算			798	3,262	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加者数	人	目標	—	—	10,900	11,100	11,300
		実績	—	—	16,085	9,330	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

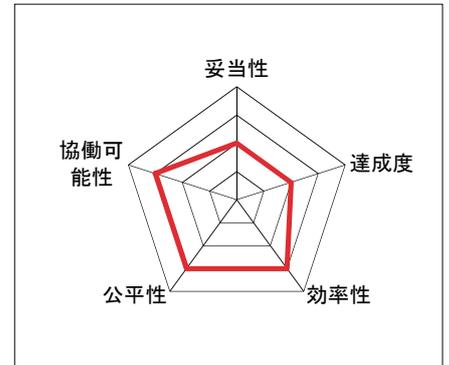
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
「健康づくり計画(第2次)」に基づき、市民の健康づくりを推進する。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
健康講座で市民に自分の身体の状態を知って貰い、講座の受講後に、市民個々の取組方法が分かる事業を実施する。平成28年度から90歳になっても自分の歯を20本以上保っている市民を対象に表彰式を実施する。健康展に多くの人が訪れて貰うような内容を検討する。こころの体温計は市広報等で、市民がもっと定期的にアクセスできるように普及活動の方法を検討する。禁煙外来治療費の助成は、達成者にアンケートを取りながら事業内容について検討する。
(何をどのような状態に改善したのか)
講座受講後の市民個々の取組方法が分かるよう参加者に対し、体成分分析装置による測定や骨密度測定を実施した。9020運動表彰式を新たに実施した。健康展は市民団体の協力を得て、来場者が増加した。こころの体温計は市広報等により普及活動を実施したが、利用者が減少した。禁煙外来治療費助成はアンケートを実施し、事業内容を検討している。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
健康教育、8520・9020運動、健康展については前年度と比較し、合計1,151人参加者が増加した。

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
こころの体温計をはじめ事業の普及・啓発に努めることが必要である。

## 7. 今後の方向性

拡充

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市民自ら健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、「ラジオ体操第一」の普及に取り組む。こころの体温計については、市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、利用者の増加を図る。